

## アルフレッド・ハウゼ・タンゴ・オーケストラ

(2017年7月12日@横浜みなとみらいホール)

齋藤 富士郎

横浜みなとみらいホールで7月12日開催のアルフレッド・ハウゼ・タンゴ・オーケストラの公演を聴いた。この公演については一般にはあまり知られていないようで、筆者もあるタンゴとは全く関係のない堅い雑誌の広告欄でこのことを知った。「コンチネンタル・タンゴか」と始めは行く気にもなっていなかったが、その後「ハウゼなら一度くらいは聴いておいてもよいか」と思い直して、聴くことにした。結果はそれで大正解かつ大満足であった。

バイオリン 13、ビオラ 2、チェロ 2、ギター 2、パーカッション 1、ビブラフォン 1、アコーディオン 3、金管楽器 3、木管楽器 1、ピアノ 1、指揮 1 (合計 30名) という大編成のオーケストラはタンゴ楽団と言うよりはチェンバー・オーケストラと言った方が良くらいである。

ハウゼは2005年に世を去っているのに、今回は彼に替わる指揮者としてジャック・パウエルを迎えての公演である。ジャック・パウエルという名前のアルファベット綴りはわからないが、名前からして恐らく英米系の人ではないだろうか。指揮ぶりもどちらかと言えばソフトなハウゼと違ってかなり力感に溢れた印象で、その意味でジャック・パウエルはアルフレッド・ハウゼ・タンゴ・オーケストラにハウゼとは異なる新しい演奏スタイルを持ち込んだとも言える。想像であるが、彼は以前にどこかのチェンバー・オーケストラを指揮していたのかもしれない。

ステージ一杯に広がった大編成のオーケストラによる力強い大音量はヨーロッパのクラシック音楽の伝統を改めて認識させるものがあり、演奏技術も素晴らしく、「アルフレッド・ハウゼのタンゴはムード音楽化したタンゴ」という従来の意見を吹き飛ばすものであった。「コンチネンタル・タンゴか」と言って見送ったアルゼンチン・タンゴ愛好家は大損をしたことになる。

アルフレッド・ハウゼ・オーケストラが初来日したのは1965年で、2017年はそれから53年目にあたる。ということは今回の公演メンバーの大半は当時、まだ生まれていなかったことになる。

当日のプログラムは末尾に掲げた通りで、コンチネンタル・タンゴのスタンダード・ナンバーとアルゼンチン・タンゴの有名曲を並べた、一、二を除けば誰でも知っている曲目ばかりである。第1部3曲目の「黒い瞳のジプシー」の原題は“Du schwarzer Zigeuner”、第2部14曲目の「雨のロマンス」の



原題は“Regentropfen, die an dein Fenster klopfen”で、この2曲はあまり知られていないと思う。第2部7曲目の「唯一度の機会」の原題は“Das gibt's nur einmal”で、有名な映画「会議は踊る」の主題曲である。第1部10曲目のハンガリー舞曲第5番と第2部6曲目の「白鳥に湖より「情景」」は誰でも知っているクラシックの有名曲だが、この2曲についてはアコーディオンの出番は無く、弦楽器とピアノによる演奏であった。アンコールは“Military tango”（これも聴いたことのない曲）とラ・クンパルシータ再演であった。アルゼンチン・タンゴのポピュラー曲も並んでいるが、筆者としては、それよりも日本ではあまり知られていないコンチネンタル・タンゴの曲目を並べて貰った方が有り難かった。しかし一般受けを狙えばこういうプログラムになるのだろう。

コンチネンタル・タンゴについては「作品が少なく、単純で面白さに欠ける」という見方が一般的である。しかし、筆者に言わせれば、これはコンチネンタル・タンゴに内在する問題ではなく、日本のレコード会社の商品企画の貧弱さにあると思う。実際、今回の公演会場でもハウゼのCDを4種類ほど売っていたが、それらの収録曲目はどれも殆ど同じであった。これでは買う気にならない。知られていないコンチネンタル・タンゴの名曲をもっと発掘してほしいと思う。もっともこのような要求は商業ベースでは無理で、アルゼンチン・タンゴの場合のように、熱心なコレクターの努力に期待するしかないのだろうか。

1965年の初来日の時に高山正彦氏はあるタンゴ・ファンの質問に答えて「ハウゼはお奨めです」と言われた。この言葉は53年後の今日でも生きている。

## 2017 プログラム

### 《 第 1 部 》

- ① オレ・グアッパ
- ② 淡き光に
- ③ 黒い瞳のジプシー
- ④ ヘルナンドス・ハイダウェイ
- ⑤ ブルー・タンゴ
- ⑥ さらば草原よ
- ⑦ アディオス・ムチャーチョス
- ⑧ 碧空
- ⑨ カミニート
- ⑩ ハンガリー舞曲第5番
- ⑪ ジェラシー
- ⑫ オー・ドンナ・クララ
- ⑬ ママ、恋人が欲しい
- ⑭ ラ・クンパルシータ

### 《 第 2 部 》

- ① 黒い瞳
- ② ラ・モローチャ
- ③ 月下の蘭
- ④ フェリシア
- ⑤ 小さな喫茶店
- ⑥ 白鳥の湖より「情景」
- ⑦ 唯一度の機会
- ⑧ 奥様お手をどうぞ
- ⑨ エル・チョコクロ
- ⑩ 夜のタンゴ
- ⑪ ロドリゲス・ペニャ
- ⑫ 真珠採りのタンゴ
- ⑬ 雨のロマンス
- ⑭ タンゴ好きのお嬢さん